



CONTENTS

特集 福祉・家事援助サービス事業とは	表紙
わか町ぶらり散歩	2
7区通信／就業先情報(城南区)	3
実績報告・事故報告／会員のひろば	10
互助会だより	11
事務局からのお知らせ	裏表紙

福祉・家事援助サービス事業とは



健康で福祉に理解と熱意をもつ会員が、家事援助を必要とするお客様に日常生活上のサービスを提供し、安心して暮らし続けることができる地域社会の実現をお手伝いしています。

福祉・家事援助サービスは、人生経験を活かすことができる仕事です。仕事内容としては、掃除、食事作り、洗濯、買い物、お子様のお世話、話し相手などです。会員の皆さまが不安なく就業できるよう平成 28 年度も様々な研修会、講習会を行いました。また就業上の相談などが出来るよう各出張所には担当がおり、班長やリーダーを中心に協力し合える体制を整えています。以前は女性会員が多く参加されていましたが、最近では男性会員も増え、お客様にも大変喜ばれています。



福岡市シルバー人材センターでは、現在実施している家事援助サービスやワンコインサービスの事業実績を踏まえ、平成 29 年4月からは「介護予防・日常生活支援総合事業」へ参入を予定しています。

新しい仲間とたくさんの笑顔に出会える機会です。ぜひ、「まず出来ることから」始めてみませんか？

和歌が救った『桧原桜』（南区）



毎年春に美しい花を咲かせる福岡市南区桧原に通称『桧原桜』の愛称で親しまれている桜は、道路拡張のため、昭和59年3月10日の朝、枝一杯に蕾をつけたまま、1本の桜の木が切られました。残りの桜もはかない運命でした。それを惜しんだ一人の市民が、桜の命乞いの歌を詠んで色紙を幹にかけました。

花守り 進藤市長殿 「花あわれ せめてはあと二旬（20日間） ついの開花（最後の開花）を 許し給え」（土居様）

伐採を請負った業者も温情でせめて桜が散るまでと、俳句での花の心のリレーで他の桜を切るのは待っていました。すると花を惜しむ歌や句が次々に『桧原桜』にかけられました。



その中に「桜花（はな）惜しむ 大和の心 うるわしや とわに匂わん 花の心は」（香瑞麻）の一首があって、その詩が進藤一馬市長の返歌と分かりました。当時の福岡市長は、「道路反対」のデモをして意思を示すのではなく、市民の桜の木に寄せる花心を詠った「俳句」や「短歌」という雅な行為が心を動かし、施工計画を変更する粋な計らいで『桧原桜』は守られました。「花あわれ せめてはあと二旬 ついの開花を 許し給え」と「桜花惜しむ 大和の心 うるわしや とわに匂わん 花の心は」の2つの歌が歌碑になっています。



進藤一馬市長が返歌し、施工計画が見直しされたというドラマが言い伝えられる桜の名所は現在、地域のシンボル公園になっています。住民の桜の木に寄せる花心の歌で、いきのびた桜齢80年のドラマある『桧原桜』です。桜の時期に限らず一年中、小鳥からも愛され市民の憩いの場として親しまれています。開花時にぜひ足を運び一句詠ってみたら如何でしょう。

（参考資料：福岡市図書館、ホームページ）

広報委員 水田 國生

●「女性会員の集い」開催



11月24日（木）14時から香椎公民館大会議室において、「女性会員の集い」が広田委員長を始め会員43名及び樋口担当専任理事、岡崎監事の出席で開催されました。

広田委員長の挨拶の後、女性の就業状況を中心に活動報告がありました。

続いて、加藤副委員長（安全担当）から安全就業について、10月末現在の女性会員による事故の事例などの紹介があり、十分な注意を払うようにとのことでした。

来賓の樋口専任担当理事からは、福祉家事援助事業が減少傾向にあり、子育てや筆耕のPRをしている。また、福岡市が行う生活支援型訪問サービス従事者研修の受講をされるよう要請されました。

特別講演に、天野乃ぶ枝先生（メッセージ音楽教師）他2名による「音楽を一緒に楽しみましょう」の題でピアノとギターによる弾き語りがあり、その後懐メロや童謡7曲を出席者全員で合唱し、楽しみました。

●東区年末の交通安全県民運動キャンペーンに参加

12月9日（金）15時からイオンモール香椎浜において、東区交通安全推進協議会・東区交通安全協会などの主催による「東区年末の交通安全県民運動キャンペーン」が行われました。

東区内の交通安全に関する各種団体が参加し、東署長・東区長の挨拶と香椎浜保育園の園児による歌の披露がありました。

東出張所からも各駐輪場就業会員など50名が参加し、交通安全の啓発活動が行われ、チラシなどを配布しました。



●パソコン教室開催

東出張所ではパソコン教室を開催しています。当教室は、開講以来8年余り、これまで約100名の方々にご利用いただいております。

現在毎週木曜日（祭日を除く）10時から12時まで、講師として野田 純会員を始め4名、受講生5～6名のほぼマンツーマン体制での指導で運営しております。

本教室では受講料4回3,500円（会員以外は4,000円）、教材（パソコン、テキストなど）は受講生の方々の持ち込みとなっています。

指導内容は各受講生の方々の要望に合わせ、ワード、エクセル、デジカメ、はがき作成など初心者向け教室です。

これからパソコンを始めたい方、もう少し上達したい方に最適な教室を目指して頑張っています。

受講は随時受け付けており、いつからでも受講できます。

気軽にパソコンを始めたい方、続けたい方、是非お待ちしております。



●榎田保管所にシルバー就業者の控室が完成



控室完成を喜ぶ就業者の皆さん
(後方中央がリーダーの福島武士会員)

榎田保管所は歩道橋のある榎田交差点に交わる都市高速道路の下に、博多区の違法駐輪のため撤去された

自転車を保管することを目的として福岡市によって設置されました。

運営は市の職員のほか、シルバー人材センターから10名程度が撤去自転車の保管業務（自転車情報のデー



撤去自転車の受取りとデータ入力作業の様子

タ入力、整理、返却、廃棄業務)のため就業しています。これまで、夏の暑さや冬の寒さ、台風などの風よけのための避難場所がなく、道路の橋脚のかけや保管庫の中でしのいでいましたが、1月に就業者一同が念願としていた冷暖房完備の控室が完成しました。

リーダーの福島会員から、高齢である就業者の健康管理を考える上でも、控室の設置を要望してきましたが、このたび、歴代博多出張所委員長や就業会員の熱意と多くの関係者のおかげで控室ができたことをたいへん喜んでしています。これからは、ますます仕事はかどることでしょう。との言葉がありました。

●板付北Ⅰ・Ⅱ・弥生地域懇談会の開催



1月13日(金)午前10時から弥生公民館において、板付北Ⅰ・Ⅱ・弥生地域懇談会が開催されました。

始めに、参加者の自己紹介、古賀委員長、坂稲・廣瀬副委員長の挨拶が行われたあと、坂稲副委員長から博多出張所配分金ベストテン及び地域会員

の就業状況並びに新入会員の入会状況等について説明がありました。

続いて、古賀委員長から平成29年度配分金の改定について説明があったあと、安全・適正就業に関して、ロコモティブシンドローム(日常生活に必要な身体の移動機能の低下)をなくすためのトレーニング(ロコトレ:片脚立ち)の実践が行われました。また、高齢に伴う認知症予防のため読書をされるよう推奨され、土曜日は会議室を図書閲覧や土曜サロンのために開放していますので、読書や手芸、囲碁、将棋などの趣味のある方は活用してくださいとの発言がありました。

最後の会員からの質問、要望、提案事項では、駐輪場就業者から保管期限切れ自転車の早期撤去について、リサイクルセンター就業者からダンボール置場の整備について、早急を実施していただきたいなどの意見がありました。



早く直して!ダンボール置場の扉表示が以前のままです。今でもゴミを置かれて困るとの苦情があります。

●博多出張所の忘年会

～大いに親睦を深めました～



昨年の師走(22日)の夜、本部・博多出張所・東部センターの職員や職群班長等計20名の参加で忘年会が行

われました。

参加者の中には、日頃からお互いに会話する機会がなかった方もおられましたが、会が進むにつれて仕事や趣味、家庭のことなどで会話が盛り上がり、大いに親睦を深めることができました。

来年は他の班長さんもお出席くださいませ。

広報委員 白石 寛治

●地域懇談会を終えて

11月17日（木）の地域懇談会を最後に、平成28年度の地域懇談会が終了し、12月22日（木）の役員会で渡辺委員長よりその総括がありました。



従来は中央出張所管内22区を11ブロックに分けて開催していましたが、今年度は出張所体制の変更に伴い、4ブロックに分けて開催し、4ブロック合計の参加者は109名と昨年より48名の減少となりました。

懇談会の議事内容を総括すると（1）事業内容の説明と質疑（2）地域懇談会参加者が少ないこと（3）就業相談などでした。

渡辺委員長は（1）開催場所が遠くなった（2）交通の便が悪い（3）開催場所がよく分からない等が参加者減少の理由であり、来年度は参加者の増員を図るために、ブロック数や開催場所の再検討が必要であると述べられました。

●天領日田の街並散策と味覚の旅



11月24日（木）・25日（金）の両日、会員81名がA・B二班に分かれて参加し、秋の親睦旅行が開催されました。

高速道路を一走りして日田市に着くと、まずは「近世日本の教育遺産群」として初の「日本遺産」に認定された「咸宜園跡」を訪ねました。

この「咸宜園」は江戸時代後期に生まれた儒学者・廣瀬淡窓が豊後・日田に開いた日本最大規模の私塾（現在の私立大学にあたる）で、主な門下生には高野長英や大村益次郎などがいます。

続いて、江戸時代の古い町並が残る日田市豆田町を散策し、買い物や新酒の試飲などで町歩きを十分に楽しみました。

お昼は日田盆地を流れる三隈川沿いにある老舗ホテル「山水館」で、旬の食材を生かした料理を味わいながら、温泉やカラオケを楽しみました。

帰路は下町のナポレオンのキャッチフレーズで有名な麦焼酎「いいちこ日田蒸留所」の見学と麦焼酎の試飲、さらにはうきは市の「ちくご手作り村」で美味しい手作りラーメンを堪能しました。

今回の親睦旅行は午後から小春日和の良い天気にも恵まれ、それぞれ家族へのお土産を手にも無事終えることができました。

お世話いただいた幹事さんには大変お世話になり、本当にありがとうございました。

●俳句の会「鴻臚」十周年を迎える



単に仕事だけではなく何か文化的なサークルをとということで、俳句の会鴻臚が産声を上げたのは平成18年10月、そして第一回句会が開催されたのが翌月の11月11日でした。

企画が発表されると15名もの賛同者がありました。現在会員は12名ですが、そのうちの7名は発足時からのメンバーです。

その「鴻臚」がこのほど発足十周年を迎えたことから、十周年に寄せる各人の思いをエッセイにまとめた記念の合同句集も発行し、11月27日（日）には記念吟行と「記念式典」を開催しました。

大津会長は、俳句を始めたばかりの時はこの先どうなるのかなと思ったものですが、ホトトギス同人の古賀伸治先生のご指導を得て、今では全員立派な俳人に成長されました。

会員全員が高齢で鴻臚がいつまで続くかわかりませんが、最後の一人になるまで続けたいと思っていますと語られました。

一歩ずつ鴻臚十年菊香る 大津英世

広報委員 大津 英世

●互助会『親睦旅行』



互助会恒例の『親睦旅行』は、11月15～17日の3班に分れ、総勢109名の会員が参加しました。

午前中のコースは、日本一大きい原鶴の「香山昇竜観音」参拜でパワーを頂き、続いてカメミツ工場見学です。スッポンを蜂蜜に漬け込み熟成させた健康食品の試飲ですっかり元気を貰いました。

親睦旅行の目的は、温泉入浴と昼食です。佐賀牛入りの会席料理を舌鼓をうちながらカラオケで、のど自慢大会です。楽しい時間があっという間に過ぎました。

午後は、「日田天領水の里元気の駅」で買い物を楽しみ散策した後、「ちくご手作り村」のラーメン工場見学です。福岡県がラーメンのために品質改良したラーメン100%使用したラーメンを全員で試食、スープは美味で麺の喉越しも良く満足しました。



帰路の車中では、各々就業先での苦労話をしている人、次回は活イカが良いな～とか気分は既に来秋のバス旅行の話で弾んでいますと、定刻通り大橋駅前に到着しました。また、会いましょうと口々に笑顔で解散。幹事の皆さんご苦労様でした。

●安全・適正就業会議



11月24日（木）午後1時30分から南出張所会議室において、各職群班長13名が参加して開催されました。

平田委員長から、事故件数は前年度比減少している

が「事故ゼロ」を目指し、就業に当たっては十分に注意を払い取り組んで載きたいと、挨拶がありました。

児嶋副委員長（安全担当）より、平成28年4月から10月までの福岡市全体と南出張所の事故発生状況と対策の報告がありました。

◎全市 傷害事故…14件 賠償事故…12件 自動車事故…5件 合計31件（前年同月比－5件）

◎南出張所 傷害事故…1件 賠償事故…1件 自動車事故…1件 合計3件（前年同月比－2件）

10月度の事故発生4件について、詳細にわたり事故防止対策の説明がありました。

続いて、損害賠償等の事故に対する措置について、改定『案』の説明があり、詳しくはシルバーだよりで全会員に通知すると報告がありました。

最後に、活発な質疑応答のあと閉会しました。

●元気で活躍・島崎美和子会員

福祉・家事援助サービス班で、ご活躍中の島崎美和子会員をご紹介します。

主人が他界したあと、新聞の集金や同窓会事務局で事務の仕事をしていました。そのとき、福岡市シルバー人材センターの存在を知り、軽い気持ちで入会申込をしました。経済的にも助かり、それ以上に健康と親睦を深めることが出来るのが一番の理由でした。家事援助の業務に従事しながらシルバーの行事・互助会の催しごとに参加し、多くの人たちとの出会で気力を頂いております。

シルバーの仕事をしながら、5年ごとの国勢調査と毎年実施される産業調査の仕事をして21年間続けます。

国勢調査4回以上の協力者全員に、南区役所において総務省統計局長より感謝状を頂きました。

さらに調査員1万数千人の中から23名の1人に選ばれ平成28年11月18日、福岡県庁で行われた授与式に参加し総務大臣から表彰状と記念品を頂きました。

現在82歳、21年間続けてこられたのもシルバーで元気をもらい、健康で楽しく就業させて頂いて、感謝の一言です。これからも、健康に気を付けて持ち前の行動力で、まだまだ頑張ります。と結ばれました。



広報委員 水田 國生

●第5回役員会開催



12月20日（火）午後4時から城南出張所において第5回役員会が開催されました。

永富委員長から挨拶及び11月までの事業報告が行われました。

- ①配分金は9570万円（前年比100%）
- ②公共・民間比率は公共37%（ほぼ前年並み）
- ③会員数は676人（男性428人、女性248人）
- ④派遣事業は599万円（前年比195%）
- ⑤ワンコインお助け隊は519件（月65件）

その他報告事項では、「損害賠償等の事故に対する措置について」及び「会員獲得運動の推進」「飲酒運転撲滅運動への団体加盟」などの報告がありました。

城南出張所・事務所移転計画について

◇新事務所への引越

平成29年3月11日（土）・12日（日）

◇新事務所での業務開始

平成29年3月13日（月）

◇サロン（仮称）開設

平成29年4月～5月予定

※城南区会員の皆様は本号に同封されている別紙をご覧ください。詳細については4月号でお知らせします。

●自転車駐輪場管理員全体会議



12月14日（水）・16日（金）の両日、城南市民センターにおいて本部から倉岡専任担当理事（14日に）、原専任担当理事（16日に）が出席して開催されました。

はじめに、中部センター乙丸所長がコンプライアンスを軸とした全体会議の重要性について報告。引き続き、倉岡専任担当理事、原専任担当理事からそれぞれ挨拶がありました。

会議は、①コンプライアンス推進について②駐輪場の管理業務及び収納事務について③中部セ

ンターの現状報告④意見交換一の順で行われました。

参加者から「日常業務を改めて見直すきっかけになり良かった」との声が聞かれました。会議には管理員78名全員（他地区受講者1名を含む）が受講しました。

●女性会員のつどい開催



11月22日（火）午前10時から城南市民センターで28年度女性会員のつどいが29名の参加を

得て開催されました。

友廣会員の司会により、永富委員長が挨拶され、続いて東副委員長が女性会員の動向と副委員長になって6カ月経った感想を報告しました。

大塚製薬工場の井出さんから「身体の中の水分イオンを補う経口補水液」の大事さについてお話いただきました。

第二部は、「新聞紙でつくる豪華コサージュ作り」に参加者全員でチャレンジしました。材料は新聞紙と竹串・安全ピン・ラッカー・ボンド。手芸サークル『まんさくの会』の皆さんが各テーブルについて、手順を追って丁寧に指導いただきました。

小一時間ほどで、参加者の思いを込めたコサージュが完成しました。

※作り方の詳細は手芸サークル『まんさくの会』にご連絡下さい。



広報委員 橋本 修一

●環境美化活動に貢献 福岡県知事表彰授与



早良出張所の永浦久会員は平成28年11月環境美化推進功労者県知事表彰を授与されました。地域の皆様が気持ち良く住めるようにと定期的に河川の草刈り、空き缶拾い、道路・バス停の清掃、放置自転車の撤去等を行っており、これらの活動を22年間続けています。今後も健康である限り地域の美化活動を続けていきたいと語っておられました。

●交通安全教室開催

早良市民センターに於いて11月18日（金）午前10時より、会員83名の参加で交通安全教室が開催されました。小田安全担当の司会で先ず波多江委員長より事業報告があり、続いて江口専任担当理事、井上専任担当理事、岡崎監事より挨拶がありました。



休憩後、早良警察署の永吉博文警部補より交通安全とニセ電話詐欺について講演がありました。以下はその要旨です。

交通事故は突然起こります。最近の特徴は道路横断中、夜間に多く発生しています。普段気をつけていても、その時たまたまちょっとした気のゆるみや油断があつて事故になります。

事故を防ぐには近道の横断や斜め横断をやめて横断歩道をきっちり渡る事、足を踏み出す前に反対側も確認、夜間は明るい服装・反射材・LEDライトなど活用しましょう。当たり前の事を初めに帰って行くことが大切です。

次にニセ電話詐欺についてですが、最近は還付金詐欺が多くなっています。これは戻ってくるお金があると言って現金を振り込ませるものですが、ATMでお金が戻ってくることはありません。「電話でお金はすべて詐欺！」家族や回りに相談、警察に通報しましょう。



そして事故や詐欺にあわず、明るく楽しい人生を送っていただきたい、という話で締めくくりとなりました。参加者の会員の皆さんは熱心に聞き入っておられ、有意義な安全教室だったと思います。

●佐賀県中部バス旅行

早良出張所では佐賀県中部への親睦バス旅行を11月24日（木）25日（金）に会員88人の参加



で行いました。先ず、大和町でミカン狩り、そして清水の滝を見学、牛津保健福祉センター「陽だまり」で昼食をとりました。

午後は小柳酒造と小城羊羹の村岡総本舗に続いて、武雄廣福寺を見学しました。そして、この日最後の買い物スポットである武雄物産館で買い物を楽しんだ後帰途につき、夕方5時頃シルバー人材センター早良出張所に無事到着しました。

●就業先情報

●藤嶋眼科クリニック 様



地下鉄室見駅から地上に出ると目の前に藤嶋眼科クリニックがあります。「当医院は、先進の白内障手術を取り入れ、平成6年の開業以来3万2千例以上の手術を手掛け、安全で安心な白内障日帰り手術を行っています」とのことです。平成26年6月には厚生労働省より「先進医療施設」に認定されています。

同医院には、シルバー人材センター早良出張所の会員2名が就業しています。仕事の内容は駐車場への案内とその清掃保全で、平日のみの交代制です。院長先生からは「シルバーの皆さんには仕事を適切に処理して頂いており、利用者からも評判が良く大変感謝しています」とのお言葉を頂きました。

広報委員 金田 博保

●第3回役員会開催



平成28年度第3回の役員会が12月19日(月)、西出張所会議室で城委員長、岡崎監事はじめ地域班長や職群班長が出席し

て開催され、主な報告事項は次のとおりでした。

- 介護予防・日常生活支援総合事業について
福岡市では、平成29年4月から新しい介護予防・日常生活支援総合事業（訪問介護、通所介護事業）を開始します。シルバー人材センターとしても総合事業として実施できる事業設計を検討するため、8月にプロジェクトを立ち上げました。
- 平成29年度配分金の改定案について
本部では市場経済動向や最低賃金を基に若干のアップを検討中です。
- 平成28年度発注者満足度調査結果について
シルバー人材センターに対する満足度調査が行われ、信頼できるとの回答が多く、西出張所の評価も良好でした。
- 平成29年度予算編成に向けた全市の事業方針について
 - ・会員拡大 目標7千人
 - ・目標請負契約額 約22億円（対前年5%増）
 - ・目標派遣契約額 約1億円（対前年210%増）
※派遣や請負の就業分野の拡大を行う。
※新しい事業の展開として、空き家見守りサービスや城南の拠点づくり事業を行う。
 - ・安全確保 目標事故件数43件以下に（平成25年度水準、平成27年度の2割減）
- 安全・適正就業について
西出張所では11月末までに障害事故3件、賠償事故3件の計6件の事故が発生。より安全に注意するよう話がありました。

●配食サービス事業が終了に

歴代会員の頑張りでも17年続いた配食サービス事業が、今年の3月末で終了することになりました。これは、福岡市が平成12年から始めた「食の自立支援・配食サービス事業」が利用者の減少等のため、一部の地域を除き今年の3月末で終了するためです。

現在、西出張所の配食サービスは8名（男



性6名、女性2名）です。年末と正月2日以外は毎日、午前中に軽自動車2台で遠くは西

の浦まで、安全運転に注意して利用者に弁当をお届けし、安否確認をしています。業務も残りわずかですが、最後まで頑張っている配食サービスの皆さんに、終了にあたっての思い出等をいただきました。

〈配食サービスの皆さんの感想です〉

- 一人暮らしのお年寄りやご不自由なお客様とはすっかり顔なじみになり、「寒いのにご苦労さん」「暑い中ありがとう」とお礼の言葉を頂き、何よりの励みになりました。無事に終えることができ、おかげ様で満足のいく仕事ことができました。
- 利用者の方々から、「いつもご苦労さま、雨の中ありがとう」など声掛けして頂き、元気を頂きました。会員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。
- 事業が廃止になることは残念ですが、一緒に仕事をした皆さんに感謝すると同時に、これからも元気で活躍されることを願っています。「配達日 背筋伸ばして 戸を開ける」。
- この業務も残り少なくなりました。最後までお客様の立場にたって努めたいと思います。
- 個性豊かな仲間達との出会い、配達先での高齢者との出会いは本当に思い出深いものとなりました。配食班のメンバーと熱く語って来た日々が、今懐かしく思い出されます。
- 雨、雪、台風等で大変な日もありましたが、お客様に喜ばれ楽しく働かせてもらいました。
- 配食スタッフとのチームワークのもと、安全運転並びに食品衛生、安否確認に心掛け、無事故で就業することができ、感謝しています。

広報委員 佐藤 令史

平成28年度 実績報告

平成28年12月末現在

●会員数	6,933名	●就業者	4,744名
男性	4,409名	●就業率	68.4%
女性	2,524名	●事業収入	16億7,989万円

平成28年度 事故発生状況

平成28年12月末現在

傷害事故 17 件、賠償事故 15 件、自動車事故 6 件、合計 38 件：前年同月比－4 件

さあ、今日も元気に頑張ろう！今日は寒いのでしっかり防寒着を着込んで…

ほとんどの会員の皆様は何事もないのが当たり前の毎日をお過ごしのことと思います。

でも一日を振り返ると、「愛用の湯飲み茶わんを取るとき、隣の高価なコップにコチンと当てて割りそうになった。」「自転車に乗って就業先に行く途中、右側通行している自転車の学生が前から来て驚いた!」「いつもの階段を下りていると直ぐ横を急いで下りる人がいて、つられてつまずきそうになった。」などと、小さなことでも“ヒヤリとした、ハッとした”ことを数多く経験します。

これらは一歩間違えば、1秒遅ければ重大な事故につながります。危険を予知することが自分の身を守ります。

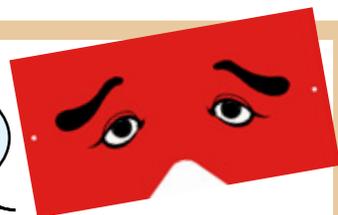
凍結した道路、インフルエンザ、火事など寒い季節は危険がいっぱい。

“いつもは…”から“もしかしたら…”の意識に切り替えましょう。

会員のひろば

※第3回福岡検定より

頭の体操 コーナー



問1 「そうつく」という博多弁の言葉の意味は何か。

- ①ぶらつく ②びっくりする ③だらしない ④めちゃくちゃ

問2 毎年2月3日に開催される節分大祭にあわせ、
楼門に人が通れるほどの大きなおたふく面が
飾られる福岡市博多区の神社はどこか。

- ①十日恵比須神社 ②住吉神社 ③櫛田神社 ④愛宕神社



協力：「福岡検定」実行委員会

①出張所名 ②氏名 ③会員番号 ④答え ⑤シルバーだよりへのご意見・ご感想を記入の上、
官製ハガキ、FAX、またはメールにてご応募下さい。抽選にて粗品を差し上げます。※3月10日締切

宛先

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15
公益社団法人福岡市シルバー人材センター 会員のひろば係
FAX651-5000 E-mail: honbu@fukuoka-sjc.org

平成28年度 芸能大会報告



平成29年1月25日(水)12時30分、福岡市市民福祉プラザにおいて芸能大会が開催されました。

今年も会員の方々を始め、ご来賓席に理事の方々、各区出張所の委員長、互助会幹事長を迎え、緊張の中の開幕でした。永富互助会会長、桑田常務理事の活気あるご挨拶にシルバー人材センターの輝く明日を確信しました。

芸能大会の先陣をきって桑田常務理事による「俵屋玄蕃」。往年の三波春夫を彷彿とさせる歌声に会場が魅了され、ご出演者はそれに続けとばかり積み重ねた技を堂々と披露され、あっという間に前半の部終了。10分間の休憩を経て後半へ。

「潮来笠」の音楽が流れる中、合羽からげて三度笠の出で立ちで、早良出張所の波多江委員長登場。橋幸夫なみの張りのある歌声に客席からも口ずさむ声があり、あの頃を思いだしているようでした。

さらにご出演者の技は続き、拍手喝采のうちにすべての演技が終了しました。その後、ご来賓による楽しい賞の発表があり、和やかな表彰式でした。

帰路につかれる会員の方々の後ろ姿に「よし私も出演しよう」と来年への決意をみる事ができました。感動と期待を噛みしめ、28年度の芸能大会を会員の皆様と共に無事幕を降ろすことができましたことを感謝申し上げます。

互助会業務委員 大水 敏子

事務局からのお知らせ

配分金改定について

国が掲げる「ニッポン1億総活躍プラン」や市場経済の動向を踏まえ、平成29年4月から下記のとおり配分金基準を改定いたします。

一般作業の場合	1時間あたりの配分金単価	2時間以内の定額配分金単価
改定後（29年4月から）	800円	1,900円
改定前（29年3月まで）	772円	1,852円

【消費税込み】

平成29年4月1日（平成29年4月分）から適用

詳しくは、ホームページ（会員専用ページ→会員へのお知らせ）をご参照ください。
また、ご不明な点は、所属の出張所へお問い合わせください。



退会をお考えの方へ

退会をするためには、「**退会届**」の提出が必要になります。

退会をご希望の方は、**必ず平成29年3月31日までに所属の出張所で退会の手続き**をお済ませください。

平成29年4月1日時点で会員資格をお持ちの方は、平成29年度会費の納入の必要があります。ご注意ください。

各出張所のお問い合わせ先	南出張所
東出張所 〒812-0061 東区筥松2丁目1-27 電話番号：092-624-4680	〒815-0033 南区大橋3丁目17-3 電話番号：092-551-4680
博多出張所 〒812-0893 博多区那珂2丁目5-1 電話番号：092-414-4680	城南出張所 〒810-0022 中央区薬院4丁目1-27 電話番号：092-526-4681
中央出張所 〒810-0022 中央区薬院4丁目1-27 電話番号：092-526-4680	早良出張所 〒814-0006 早良区百道2丁目1-35 電話番号：092-821-4680
	西出張所 〒819-0002 西区姪の浜4丁目8-28 電話番号：092-881-4680

《事務局からのお願い》

本部へいらっしゃる場合には、専用駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。ご理解ご協力をお願いいたします。

「ふくおかシルバーだより」

発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やご質問、お便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15
TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

[HP] <http://www.fukuoka-sjc.org/> [e-mail] honbu@fukuoka-sjc.org